

# Furano

特集

## 広域連携企画

となりまちで遊ぼう！

鉄路編





明治末期の下富良野駅前（正面が下富良野駅、右手に清水旅館）



豪快なハイデッカー（高床）式のスマート特急「フラノエクスプレス」

ると、その栄光に陰りが見え始めます。国内でマイカーが普及し、道路の整備やモータリゼーションの発達、産業構造の変化、流通革命の進展などにより、国鉄各駅の旅客輸送量は客貨ともに減少していきまし（下表参照）。

そうした中、昭和61年12月19日に富良野スキー場が国鉄と計画を練って製作したスキー専用列車「フラノエクスプレス」が札幌・富良野間で運行を開始し、さらに平成9年6月24日からは観光列車「富良野・美瑛ノロッコ号」も旭川・富良野間で運行され集客が図られました。旅客輸送量の減少に歯止めをかけることはできませんでした。

J R 貨物輸送状況 (各年度末)

年度	荷物(個)		貨物(t)	
	発送	到着	発送	到着
昭和41年度	31,619	92,009	177,489	114,338
45年度	23,414	78,802	159,564	59,052
50年度	31,177	71,199	70,770	26,895
55年度	30,895	61,008	70,774	23,339
60年度			59,349	6,706
平成2年度			92,905	3,625
7年度			94,785	3,590
12年度	荷物は昭和60年3月31日で廃止			
17年度			65,289	3,060
22年度			71,273	8,902
27年度			56,680	6,274
			90,310	7,001

J R 各駅乗客輸送状況 (単位：人・各年度末)

年度	総数	各駅			
		富良野駅	山部駅	布部駅	島ノ下駅
昭和41年度	1,370,488	1,064,837	230,057	75,594	
45年度	1,120,580	850,810	180,719	52,557	36,494
50年度	1,007,650	802,596	163,138	26,677	15,239
55年度	767,121	634,956	110,709	11,478	9,978
60年度	598,635	468,378	111,277	13,140	5,840
平成2年度	516,370	411,000	95,950	6,120	3,300
7年度	382,998	382,998			
12年度	339,450	339,450			
17年度	274,786	274,786			
22年度	265,000	265,000			
27年度	248,000	248,000			

平成7年度以降は正確な数値がない

**光と影**

明治30年に開拓の鐵がふるされた富良野。この当時、交通の便はまったくなく、買物は馬の背を利用して3日から4日かけて、旭川まで出かけていました。

それから2年後の明治32年に、旭川・上富良野間で鉄道が開通すると、明治33年8月1日に上富良野・下富良野(現

在の富良野市)間も開通し、本通2丁目突当りに「下富良野駅(号真)」が開業しました。明治33年12月2日には下富良野・鹿越間が開通。その後、大正2年に滝川・下富良野間が開通し、滝川・釧路間を「釧路本線」と改称。下富良野・旭川間は「富良野線」として分離され、現在の富良野駅の場所に下富良野駅が新築・移



**広域連携企画**

今年で4年目となった広域連携企画。今回は鉄道の歴史を振り返るとともに、富良野圏域の駅周辺のスポットなどを紹介します。この夏、広報紙を片手に、JRで出かけてみましょう！

企画振興課 ☎39-2304



転されました。大正10年の釧路・根室間の開通を機に、滝川・根室間の釧路本線は「根室本線」と改称されました。鉄道の開通は、開拓移民者にとって、とても大きな喜びと、将来に夢や希望を与える出来事であり、鉄道の開業後は、駅を中心に商店などが立ち並び、まちが形成されていきました。また、鉄道が開通してから1年くらいは「やあ、汽車が来ましたな」とあいさつ代わりに多くの人たちが話していたそうです。

そんな開拓最前線の人たちの夢と希望を乗せて力強く走っていた機関車にも、戦後の復興を経て高度経済成長期を迎えた昭和40年代初頭にな

**各区間の鉄道開通年月日**

明治31年7月16日	滝川・旭川間開通
明治32年9月1日	旭川・美瑛間開通
明治32年11月15日	美瑛・上富良野間開通
明治33年8月1日	上富良野・下富良野間開通
明治33年12月2日	下富良野駅開業
明治34年4月1日	下富良野・鹿越間開通
明治34年4月1日	山部信号停車場開業
明治34年4月1日	山部信号停車場を山部駅に改称
明治34年9月3日	鹿越・落合間開通
明治40年9月8日	落合・帯広間開通
大正2年11月10日	滝川・下富良野間開通
島ノ下駅開業(今年3月4日に廃駅)	
昭和2年12月26日	布部駅開業(麓郷の開拓と木材輸送のために東京大学が請願駅として開業)
昭和17年4月1日	下富良野駅を富良野駅に改称
昭和33年3月25日	学田駅設置(富良野・旭川間でのデイズルカー運行を機に設置)



根室本線危機突破総決起大会 (昭和56年6月4日)

なっています。  
こうした合理化が進むにつれて、各地で反対運動が盛んとなり、市内でも昭和55年7月22日に「住民の足(国鉄)を守る市民大会」が文化会館大ホールで開かれ、住民など1200人余りが参加し、反対運動が繰り広げられました。

また、昭和56年10月1日に開業した石勝線をめぐっては、根室本線のローカル化を阻止しようと、同年6月4日に文化会館大ホールで「根室本線危機突破総決起大会」を開催し、約1300人が参加しましたが、やがて根室本線では特急・急行がともに廃止されローカル線となり、国鉄職員やその家族の多くが富良野から去っていきました。

そうした状況の中、政府は6分割・民営化を盛り込んだ「国鉄改革のための基本方針」を閣議決定し、昭和61年11月28日の参議院本会議で国鉄改革8法案を成立させ、国鉄を分割民営化しました。昭和62年4月1日にはJR北海道が誕生し、富良野駅でも新会社の設立を祝うセレモニーが開かれましたが、職員の人数は国鉄時代の67人から駅長以下19人でのスタートとなりました。

お召列車の運行

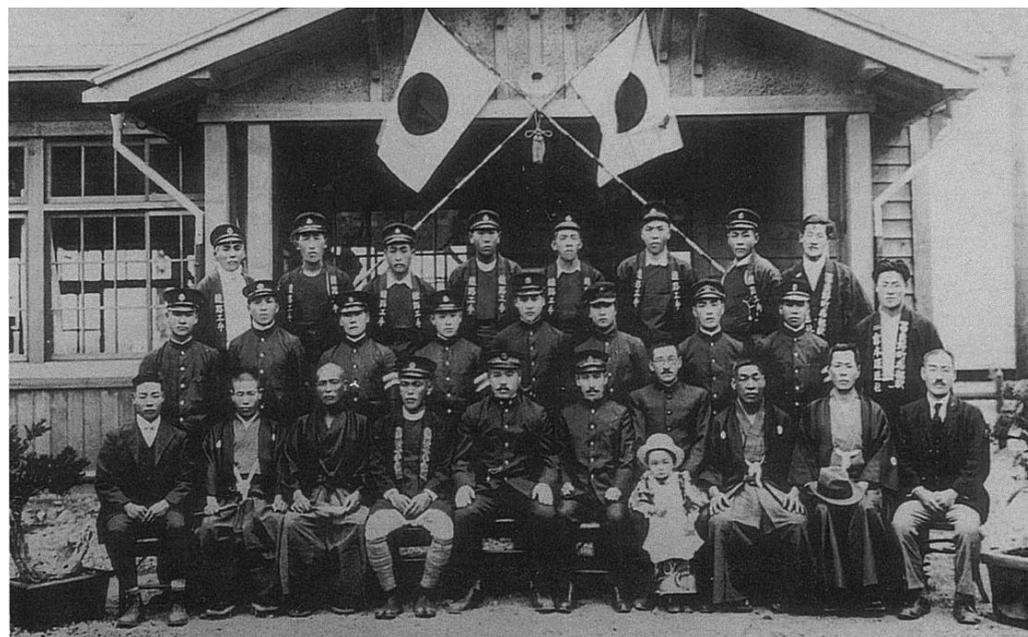
昭和29年8月18日、万歳の歓呼とよめく旗の波の中、天皇・皇后両陛下のお召列車が富良野駅に到着され、町民が待つ奉迎場の富良野高校のグラウンドへ車で向かわれました。天皇陛下が奉迎台にお立ちになると3万人の奉迎者は最敬礼し、老人の中には感涙して手を合わせる人も見られました。その後、一路国の子寮に向かわれて、幼児の無邪気な姿に微笑まれました。



JR北海道発足を祝うセレモニー (富良野駅・昭和62年4月1日)

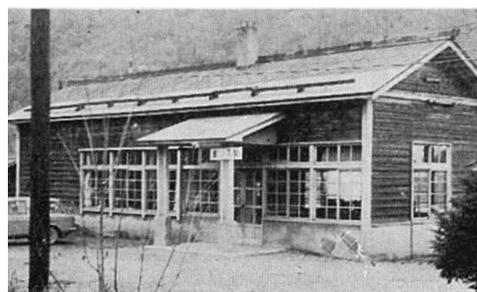


富良野駅 (昭和30年代)



布部駅開業記念 (昭和2年12月26日)

たどり着いた結末——  
旅客輸送量の減少は、国鉄の財政運営を大きく揺るがす事態に発展。国鉄は苦肉の策として、小駅の無人化、貨物の取り扱いの廃止、運行本数の削減など、赤字の要因である地方交通線、貨物部門など不採算部門の整理・統合など各地でさまざまな合理化に取り組み、その影響は富良野市内の駅にも及びました。  
明治33年12月2日に開業した山部駅では、昭和59年2月1日から貨物の取り扱いの廃止や駅員が削減された後、昭和60年3月14日からは手荷物の取り扱いも廃止され、さらに翌年11月1日には無人駅となつて旅客業務を廃止。乗車券の販売のみ国鉄OBによる委託業務で行われることになりました。  
大正2年11月10日に開業した島ノ下駅では、昭和57年5月30日に職員無配置・民間委託を経て、翌年9月に無人駅となり、今年3月4日に廃駅となりました。  
昭和2年12月26日に開業した布部駅では、昭和57年11月15日をもって完全無人駅と



島ノ下駅 (昭和41年)



山部駅 (昭和5年)



富良野青年会議所（上富良野駅・平成29年6月18日）



山部友の会（山部駅・平成29年4月14日）



鉄道フォーラム（平成28年11月14日）

鉄路存続に向けて——  
国鉄の民営化から29年余りが経過した平成28年11月18日、JR北海道は「単独では維持することが困難な線区」として10路線13区間を発表しました。その中に根室本線（富良野・新得間）（滝川・富良野間）と、富良野線（旭川・富良野間）が含まれました。この報道のわずか4日前（11月14日）には、国鉄の路線を引き継ぎ、千葉県いすみ線を運行する第三セクターのいすみ鉄道（株）の鳥塚さんを講師に招いて「鉄道フォーラム」を開催し、鉄路

可欠な鉄路の維持・存続に向けて取り組んでいきます。  
また、この間、「乗って守ろう根室本線・富良野線」を合言葉に、さまざまな取り組みを行ってききました。こうした取り組みが少しずつ浸透し、市内では住民自らJRを利用しようとする動きも見られるようになりました。  
例年、桜の花見旅行をしている山部友の会では、今年4月の新潟県上越市の旅行に、JRを利用することを決めました。参加者15人が山部駅に集まり、山部商工会などの関係者が見送る中、山部駅を出発。佐々木一郎代表は「これを機に今後もJRを利用した行程を考えていきたい」と話します。  
また、青年経済人などで組織する富良野青年会議所では、家族を含めた会員同士の交流を目的に「家族交流会」を開催し、富良野駅から上富良野駅までノックアウトに乗りしました。参加した子どもたちからは「楽しかった」と素直な感想が聞かれました。  
市民のみならず、旅行や出張などの際は、JRの利用をお願いします。

の存続に向けて動き出した直後であつたため、関係者に動揺が走りまわりました。しかし、市では今年2月と6月にJRの利用実態を把握するため、富良野駅で1日当たりの乗降客調査を実施し、「富良野市根室本線・富良野線利用促進推進協議会総会」や「根室本線対策協議会総会」を開催するなど、圏域の自治体が連携を強めて鉄路の在り方を話し合うための協議を開始しました。  
市では、今後も、こうした協議をはじめ、関係方面への要請活動などを通して、通学・通院などみなさんの生活や観光振興、農作物の貨物輸送、地域経済を支えている必要不



根室本線沿線首長と議長でいすみ鉄道を視察（平成29年5月30日）

### 根室線（富良野・新得間）の概要

- 石勝線開通後は特急列車の運行が無くなり、現在は極端にご利用が少ない線区です。
- 老朽化した橋梁が多く存在するほか、線区のほとんどが山間部であり、線路への立ち入り箇所が少なく維持管理に苦慮しております。
- 運賃赤字とは別に老朽土木構造物の維持更新費用として今後20年間で22億円程度が必要となります。  
列車本数：上下13本 駅数：9駅（うち有人2駅）  
沿線自治体：富良野市・南富良野町・新得町

### 根室線（滝川・富良野間）の概要

- 大正2年に完成した第3空知川橋梁に代表されるような100年を経過した老朽土木構造物が多く存在し、維持管理に苦慮しているほか、山間部の除雪作業にも苦慮しております。
- 石勝線開業後はリゾート列車を除いて特急列車の運行が無くなり、輸送密度も500人未満とご利用が少ない線区です。  
列車本数：上下19本（貨物：臨時上下4本）  
駅数：10駅（うち有人2駅）  
沿線自治体：滝川市・赤平市・芦別市・富良野市

### 富良野線（旭川・富良野間）の概要

- 旭川への通勤通学輸送や、富良野・美瑛を中心とした観光路線の役割もありますが、輸送密度約1,500人と比較的にご利用が少ない線区です。
- 山間部の区間が多く、冬期間には除雪等の対応に苦慮しております。  
列車本数：上下38本 駅数：17駅（うち有人4駅）  
沿線自治体：富良野市・中富良野町・上富良野町・美瑛町・旭川市

### 輸送密度が200人未満の線区（片道100人未満）

#### 根室線（富良野・新得間）

鉄道よりも他の交通手段が適しており、利便性・効率性の向上も期待できると考えられることから、持続可能な交通体系とするために、バス等への転換について地域の皆様と相談を開始したいと考えております。

### 輸送密度が200人以上2,000人未満の線区

#### 根室線（滝川・富良野間） 富良野線（旭川・富良野間）

鉄道を維持する仕組みについて、地域の皆様と下記の項目を軸に相談を開始したいと考えております。

- ア 設備の見直しやスリム化、ご利用の少ない駅の廃止や列車の見直しによる経費節減
- イ 運賃値上げによりお客様に応分の負担をしていただく方法
- ウ 沿線の皆様に日常的に鉄道をご利用いただく利用促進策
- エ 運行会社と鉄道施設等を保有する会社とに分ける上下分離方式

そのうえで、輸送サービスを鉄道として維持すべきかどうか検討を行います。

### 線区別の諸元（平成27年度）

線路・区間	営業キロ (km)	輸送密度 (人/キロ/日)	1列車平均乗車人数	営業損失 (百万円)	営業係数 ※
札沼線 北海道医療大学～新十津川	47.6	79	7人	351	2,213
根室線 富良野～新得	81.7	152	11人	979	1,854
留萌線 深川～留萌	50.1	183	11人	683	1,342
輸送密度200人未満の線区 計	179.4	141	10人	2,013	-
宗谷線 名寄～稚内	183.2	403	25人	2,541	618
根室線 釧路～根室	135.4	449	26人	1,076	517
根室線 滝川～富良野	54.6	488	23人	1,183	1,010
室蘭線 沼ノ端～岩見沢	67.0	500	32人	1,117	965
釧網線 東釧路～網走	166.2	513	34人	1,617	561
日高線 苫小牧～鶴川	30.5	589	29人	443	803
石北線 新旭川～網走	234.0	1,141	51人	3,568	324
富良野線 富良野～旭川	54.8	1,477	49人	956	363
輸送密度200人以上2000人未満の線区 計	925.7	698	37人	12,501	-
石勝線 新夕張～夕張	16.1	118	7人	150	1,188
日高線 鶴川～様似	116.0	186	13人	1,100	1,476
すでに話し合いを始めている線区 計	132.1	178	12人	1,250	-
当社単独では維持することが困難な線区 計	1,237.2	562	31人	15,764	-

※営業係数：100円の営業収益を得るために必要な営業費用の指数

明治38年、下富良野駅舎と職員一同



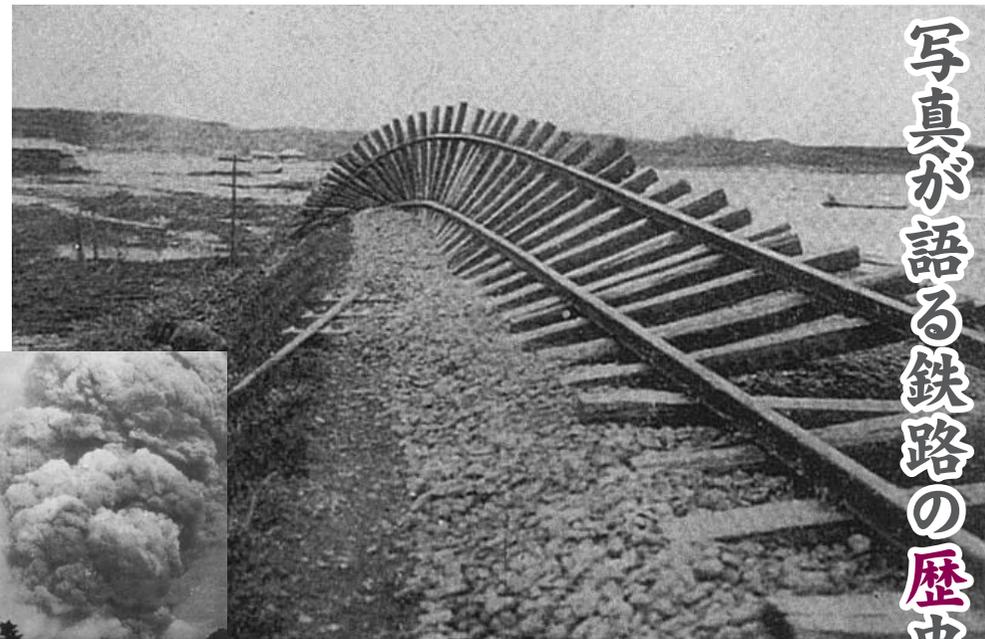
昭和43年10月1日の早朝、旭川方面からやってきた4両編成貨物列車が鉄橋ごと富良野川に転落。同45年に同僚たちが事故現場に慰霊碑を建立し、第3回追悼法要がしめやかに行われた



国鉄富良野機関区



昭和55年7月22日、「住民の足(国鉄)を守る市民大会」を文化会館大ホールで開催し、国鉄の合理化反対を訴える



写真が語る鉄路の歴史

大正15年5月24日、不気味な鳴動を響かせていた十勝岳が突如大爆発。ガスと噴出物で火口周辺の残雪が一挙に解けて泥流となり流下し、上富良野町に敷設された富良野線の鉄道は押し曲げられた



大正9年、東大演習林森林軌道敷設  
大正14年、蒸気機関車を導入

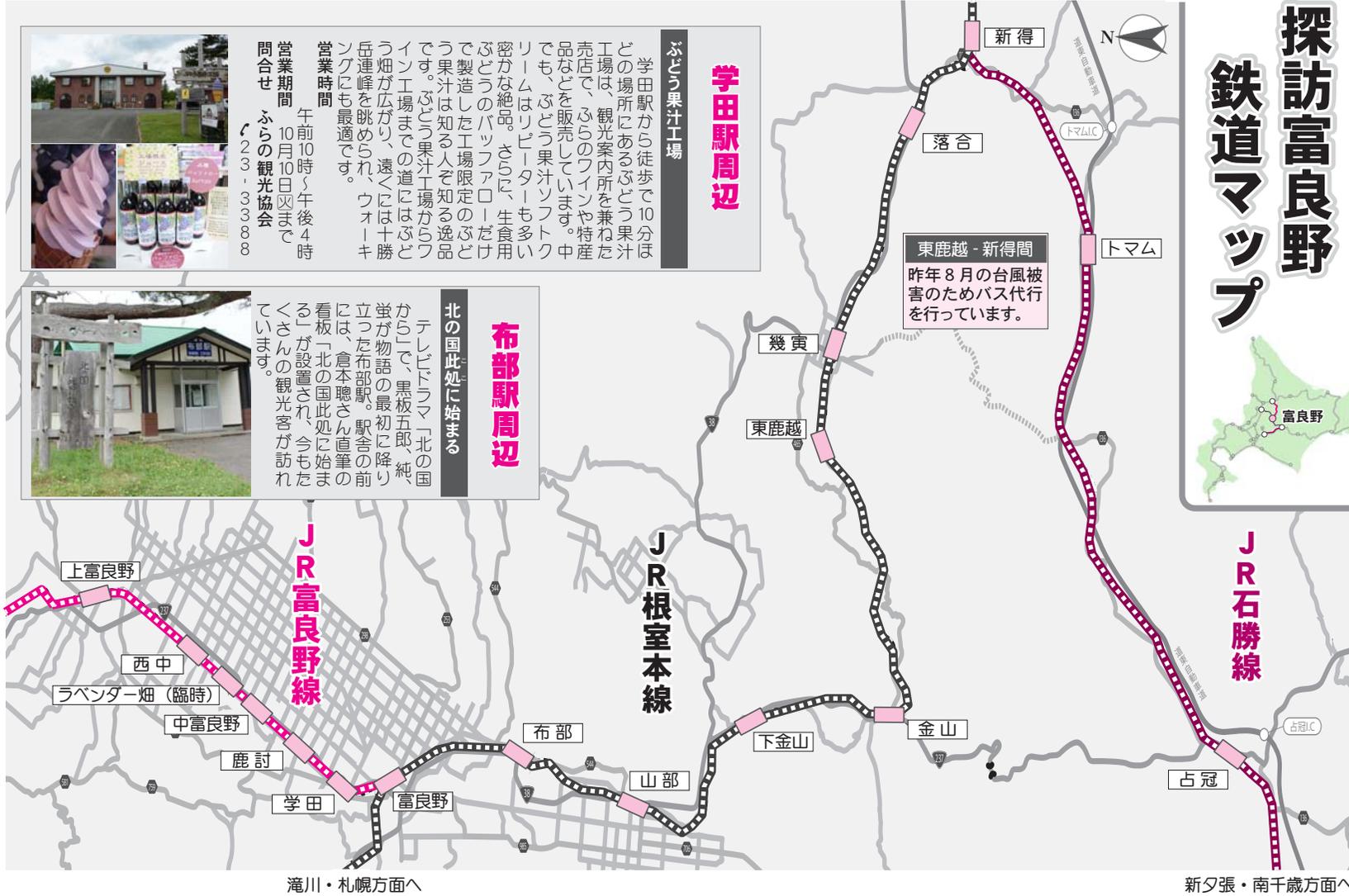


明治35年当時の下富良野官設駅通所(えきていしょ)



明治33年12月、山部駅と同時に駅通開設。明治45年に駅通は廃止された

# 探訪富良野 鉄道マップ



## 富良野駅周辺

### D51蒸気機関車「フラヌイ号」



当時と変わらない輝きを放ち、富良野文化会館横に展示されているD51蒸気機関車「フラヌイ号」。国鉄の動力の近代化計画にともなっており、各地で蒸気機関車からディーゼル機関車への転換が進み、昭和49年7月には富良野線でも無煙化となり、同年10月1日をもって富良野から蒸気機関車が姿を消しました。そうした中、道内各地で蒸気機関車の姿を長くとどめその功績を顕彰しようという機運が高まり、富良野でも機関区OBなどから蒸気機関車の永久保存の声が上がり、国鉄北海道総局に静態展示を打診し協議した結果、昭和50年5月に富良野線でも活躍し、ゆかりのあるD511954の永久貸与が決定。同年7月に輸送・展示されました(写真下)。昭和50年7月27日には盛大に展示披露式典を開催し、蒸気機関車の愛称「フラヌイ号」を発表。今もなお、多くの住民や鉄道愛好家はその勇壮な姿を一目見ようと訪れています。

展示場所 文化会館横  
問合せ 生涯学習センター  
☎42-2407



昭和50年7月に行われたS L輸送作戦

## 学田駅周辺

### ぶどう果汁工場

学田駅から徒歩で10分ほどの場所にあるぶどう果汁工場は、観光案内所を兼ねた売店で、ぶどうのワインや特産品などを販売しています。中でも「ぶどう果汁ソフトクリーム」はリピーターも多い密かな絶品。そのほか、生食用ぶどうのバツファローだけで製造した工場限定のぶどう果汁は知る人ぞ知る逸品です。ぶどう果汁工場からワイン工場までの道にはぶどう畑が広がり、遠くには十勝岳連峰を眺められ、ウオーキングにも最適です。

営業時間 午前10時～午後4時  
営業期間 10月10日頃まで  
問合せ ぶどう観光協会 ☎23-33388



## 布部駅周辺

### 北の国此処に始まる

テレビ「トマム」北の国から「黒板五郎純」純、蜜が物語の最初に降り立った布部駅。駅舎の前には、倉本聰さん直筆の看板「北の国此処に始まる」が設置され、今もたくさんの方々が訪れています。



## JR富良野線

## JR根室本線

## JR石勝線

滝川・札幌方面へ

新夕張・南千歳方面へ

## 山部駅周辺

### 世界連邦平和都市

昭和30年11月10日、山部村議会で、国内で12番目、北海道初となる「世界連邦平和都市」を宣言。これを記念し、山部駅前記念の看板が設置されています。山部駅にお越しの際は、この場所でも戦争もない世界平和を願って誓いを新たにしましょう。



### 太陽の泉 (山部中央公園)

富良野市開基90周年を記念して、山部駅近くの山部中央公園に建立された噴水。公園にはイベントなどで活用できるよう、ステーションも設置されています。ぜひ、お楽しみください。



## 富良野駅限定グッズ販売中

6月から富良野・美瑛・ロンコ号や特急「フラノ」運行に合わせて、富良野駅などに合わせて、富良野限定販売しています。今年3月に惜しまれながら廃駅となった「島ノ下駅」のキーホルダーも取り扱っています。いずれも数に限りがありますので、早めにお買い求めください。なお、通信販売は行っていませんので、直接JRふらの駅構内のふらの観光協会インフォメーションセンターでお買い求めください。

営業時間 午前9時～午後6時  
休業日 なし  
問合せ ぶらの観光協会 ☎23-33388



富良野圏域各駅のマグネットプレートも販売



学田駅  
富良野線

山部駅  
布部駅  
根室本線

## JRに乗って出発進行!



富良野駅

**金山パークゴルフ緑地公園**  
自然のアップダウンを活用した18ホールを楽しめます。  
ところ 南富良野町金山  
営業時間 日の出から日没  
利用料金 無料  
問合せ 52・2145

**農産物直売所 作倶楽(さくら)**  
取り扱う野菜は90品目強。かぼちゃだけでも14種類以上の品揃え。珍しい野菜も販売しています。作倶楽の野菜は、美味しく食べられる頃合いを見て収穫しているため、季節によって販売している野菜が変わります。  
ところ 南富良野町 字下金山  
問合せ 55・2031

**らーめん寿浅(8月以降開店)**  
北の峰にあった「焼肉とラーメンの店寿浅」が、8月以降に営業を始めます。  
ところ 中富良野町 基線北8号  
営業時間 午前11時〜午後2時  
※日・月曜日は定休日  
問合せ 44・4966

**ダイニングシェーブル**  
主に地物や道産の素材を使った料理を提供しています。特に野菜はカラフルなものや、珍しいものなどを充実させています。  
ところ 中富良野町南町7-35  
営業時間 午前11時30分〜午後9時  
※午後3時〜6時は昼休み  
問合せ 44・4966



ラベンダー畑駅  
(臨時駅)

**とみたメロンハウス**  
収穫されたばかりのメロンが並び、地方発送やお土産に持ち帰ることが出来ます。その場でカットメロンやソフトクリーム、メロンスムージー、焼きたてのメロンパンなども味わえます。  
ところ 中富良野町宮町3-32  
営業時間 午前9時〜午後5時  
※9月まで無休  
問合せ 39・3333

**NAKAFURANOフードテラス DOT**  
今年6月にオープンしたばかり! 甘味たっぷりの新鮮果物に、雲のようなフワフワ氷が降り注ぐ、新食感のかき氷店。  
ところ 中富良野町東1線北18号  
営業時間 午前9時〜午後7時  
問合せ 090・6219・2681

西中駅



**東鹿越駅**  
かなやま湖保養センター  
問合せ 52・2223

**幾寅駅**  
南富良野エソカツカレー  
町内で衛生駆除された工ソシカ肉を使用。飲み物には町特産のくまさ茶がついています。  
ところ 南富良野町 字幾寅  
問合せ 52・2733

※東鹿越 新得間は、昨年8月の台風被害のためバス代行を行っています。

根室本線

**石勝線**  
根室本線

**落合駅**  
落合ふれあい広場  
パークゴルフ場  
丘への打ち上げ、打ち下ろしなど、バラエティ豊かな9ホールを楽しめます。  
ところ 南富良野町落合  
営業時間 日の出から日没  
利用料金 無料  
問合せ 52・2145

**道の駅自然体感しむかつぶ**  
占冠村の自然や動物のパネル展示と、近郊の観光情報を提供しています。内部には「しもかび工房」の木工製品、地元農家さんの新鮮野菜、レストランやお土産店が並んでいます。特に占冠村の村木・カエデから生まれたメーブルシロップを、アイヌ語で「イヌカエ」を意味する「トベニツッカー」と名付けて販売しています。  
営業時間 午前9時〜午後6時  
問合せ NPO法人占冠・村づくり観光協会 39・8010



**トマム駅**  
雲海テラス  
朝日を浴びながら3分の空中散歩でいきつ先は、想像をはるかに越える絶景が広がります。  
ところ 星野リゾートトマム 内リゾートセンター  
期間・時間  
8月 午前5時〜8時  
9月 午前4時30分〜8時  
10月1日〜16日 午前5時〜7時  
料金 大人1900円  
小学生1200円  
※トマム駅から送迎バスあり  
問合せ 58・1111

**占冠駅**  
レストラン メーブル  
◆占冠の恵みの山菜カレー  
山菜や鹿肉ミョウバール、ライスはキョウワシヤニニクとコーンが入っていて、この一品で占冠の特産品が味わえます。  
ところ 物産館2階 (占冠駅前)  
問合せ 56・2778

滝川・札幌方面

**駅前弁当**  
駅を出て約1000歩へ、オレンジ色の看板が目印を引く、精肉店兼お弁当屋さん。精肉店を営む傍ら30年前から駅前店を併営し「駅前弁当」も始めました。精肉店だけあって「お肉」が入ったお弁当「豚サガリ弁当」がイチオシです。旅のお供にどうぞ。  
ところ 上富良野町 中町2丁目4-11  
営業時間 午前9時〜午後6時  
問合せ 45・5661

**赤川菓子店**  
大正14年に創業し、約百年の歴史を持つ老舗菓子店。現在は3代目の店主で、ケーキや和菓子パンなども取り扱っています。中でも、アイロンチヨロトを挟んだ銘菓「フラスイラバンダー」は上富良野を代表するお土産として人気。  
ところ 上富良野町 錦町2丁目4-10  
営業時間 午前8時30分〜午後7時30分  
問合せ 45・2108

**日の出公園展望台**  
ラベンダー園で有名な日の出公園は駅から約1.5kmの所にあり、「花と炎の四季彩まつり」と「北の大文字」で有名なスポットです。小高い丘の上の展望台からは東に十勝岳連峰が一望できます。青空に浮かび上がる日中の十勝岳連峰はもちろんです。夕焼け色に染まる山々も一味違っておススメです。



上富良野駅

美瑛・旭川方面

※掲載しているお店などは、今回の広域連携企画により各自治体から掲載依頼されたものです。

# 元国鉄職員の思い

それでも鉄路を守りたい

10月14日の「鉄道の日」に、偶然にも国鉄職員として働く父親の家庭に生まれ、家族6人で富良野機関区の鉄道官舎で暮らして来ました。毎晩、官舎の窓から父親たちが汗水流して働いている後姿を見て、「鉄道の仕事は大変だなあ」と思い、子どもごころはあまり好きではありませんでした。でも、高校を卒業後、富良野では良い就職先が見つからず、上京を覚悟しましたが、長男であり親のことも考えると転勤する事は避けられたので、昭和38年4月に国鉄富良野機関区に就職しました。

機関区では、整備係として機関庫に戻ってきた蒸気機関車を朝から晩まで清掃しながら、SL乗務員をめざして機関車の部品を覚えること2年。その後、ようやく機関車乗務の機関助手になって、釜焚きを10年間勤めました。でも時代とともに蒸気機関車からディーゼル機関車に主役が代わり、私はSLではなくディーゼルの運転技術の教育を受けて、昭和49年からディーゼル機関車の機関士として、富良野駅から住民や観光客を乗せて運行していましたが、そんな富良野での生活は長くは続き



ちかだ やすひさ  
近田 靖久さん (74歳)

元国鉄職員。富良野市出身。昭和36年4月に国鉄に入社後、富良野機関庫整備係や機関士として勤務。富良野機関区の廃止と、国鉄民営化の際に配置転換を経験。定年退職後はSL保存会の理事長として会の運営に携わる。平成28年3月にSL保存会解散後も、元メンバーたちと、鉄道談義に花を咲かせながら、鉄道の存続について考える。

い、それぞれの駅名を覚えなければ仕事にならないため、当時48歳の私は、必至に覚えようと努力しましたが、周りの職員にも迷惑をかけたくなかったこともあり、3カ月で上司に異動を依頼



コーヒESHOP店のウェーター時代

ませんでした。

昭和61年に富良野機関区が廃止され滝川機関区に配置転換となり翌年に滝川へ異動。昭和62年4月に国鉄はJR北海道に分割民営化され、平成元年4月、45歳にしてJR東日本に転配となり上京するなど、波乱万丈の人生が幕を開けます。

JR東日本で最初に勤務した駅は上野駅。ここでは東北新幹線の清掃業務に3年間携わりました。2カ所目は北千住駅の営業指導係。この駅には私鉄を含めて何本もの路線が行き交



北千住駅営業指導係として勤務

する。3カ所目は、JR東日本が上野駅浅草口付近で経営していたコーヒESHOPの「オアシス」で、鉄道とは無縁の仕事に就きました。朝7時半から店をオープンし、慣れない手つきで、飲み物やパスタ、カレールイスなどのオーダーを聞いて回り、田舎者の私は「カフェオレ」が分からず、妻に電話して聞くこともありました。そんな生活が6年間続く中、JR東日本がこの店を含む外食部門を分社化することとなり、再び上野駅に戻り、ホームの案内業務を2年間担当し、ホームの週に2回から3回は24時間勤務があり、さらに約7分間隔で入ってくる電車の安全確認をしなければならず、息をつく暇もありませんでした。定年が迫った57歳のときには、5カ所目の異動先、東京都環境局に出向を命じられました。タイオキシンなどの環境問題を研究しているビル内で、ボイラーや空調の管理業務をしながら還暦を迎え、定年退職し、富良野に帰ってきました。

富良野機関区が廃止された当時、手に職がなかった私が、家族を養うために、会社による配転を受け入れて、単身、上京せざるを得ませんでした。今思えば、辞令一枚の重さをつくづく感じ、家族にも悲しい思いをさせてしまったと感じています。

富良野に戻ってからは、設立当初から加入していたSL保存会の活動に復帰し、月1回のSL清掃に参加しました。平成17年からは理事長として、同じ富良野機関区の先輩で3代目会長の辻澤勇男さんたちと、組織の高齢化や男性社会で閉鎖的だった雰囲気を一掃しようと、元国鉄職員の家族や鉄道ファン、市職員などにも声をかけ、清掃を続けてきました。若

見沢や三笠、北見など、全道各地で展示されている蒸気機関車の視察にも行き、各地の保存会の人たちからは「富良野の蒸気機関車の保存状態は北海道で一番良い」と太鼓判を押され、誇りを感じて



2階ほどの高さでSLの冬囲いを撤去する近田さん

いました。しかし、平成28年3月に、組織の高齢化を前になす術がなく、メンバーが老体にムチ打って清掃をすることも限界となり、残念ながら会は解散しましたが、今でもメンバー同士の交流は続いています。

去年11月のJR北海道の報道発表後も、メンバーたちが集って「何かできることはないか」と考えましたが、「富良野だけで頑張っても、鉄道は道内各地につながっている、どうしようもない」と戸惑いの声も聞こえよまほ。でも、これが高齢化がますます深刻化し、通院のために公共交通網が必要となる人がたくさん出てくることも予想されるので、「簡単に鉄道を廃線にすべきではない」と、みんな口を揃えて話しています。

今後各地で路線が廃止されるような事態に進展すれば、市民の足がなくなるのと同時に、再び、私のような辛い経験をしなければならぬJRの関係者がたくさん出してしまうかもしれませんので、「鉄路存続のために何ができるのか」、考えていきたいと思っています。



SL保存会会員とフラヌイ号 (平成26年春)

# 鉄道ファンの思い

## 観光面での活用に期待

昨年11月のJR北海道の報道発表で、道内全路線の約半分が廃線の危機に直面していることを知り、「鉄道がなくなるなら、ファンをやめようか…」と考えてしまつほどに衝撃を受けました。JR北海道の設立以来、経営や運営はすべて会社任せにしてきたので、生活の足として利用してきた私たち住民、それを守る立場の行政、そしてJR北海道の3者がかつと連携して

いれば、こんな悲しい事態は回避できたのではないかと感じます。これまで全国のローカル線を旅し、各地で鉄道ファンや住民が鉄道存続のために行動している姿に刺激を受けて、私も今年3月3日、島ノ下駅の営業最終日、想いを共有できればと駅のポストカードを80枚作成し、訪れたファンや地元の方々に配布させていたできました。



旭山動物園号と富良野・美瑛ノロッコ号

が、個人的には国やJRの支援を受けながら民間が中心となって列車を運行し、JR北海道が鉄道(線)の管理を行う「上下分離方式」を採用し、ノロッコ号をはじめとする観光列車、案内人を乗せて走るガイド列車、鉄道ファンに人気の夜行列車など、アイディアを出し合いながら、それぞれが責任を持って列車を運行していくことも、住民の足としても鉄道を存続していく方法が望ましいと考えています。



十勝岳とキハ40

が開催する説明会などに積極的に参加し、みなさんと関心を持って鉄道の未来を考えていきたいです。



旭川駅から留萌本線直通の増毛行き普通列車 (キハ54)

まつばら よしなり  
松原 良成さん (47歳)

エム・ファクトリーふらのの代表。千葉県市川市出身。幼いころから父親と常磐線を見たり乗ったりして鉄道に親しむ。平成7年1月に深名線(深川-名寄間)が廃線の危機に陥っていることを知り、夫婦で青春18きっぷを片手に、普通列車を乗り継ぎ来道。深名線の車窓に広がる景色は、まさに幼いころに父親と見た景色そのもので、一瞬にしてローカル線に魅了された。平成12年に北海道の鉄道を追い求め富良野に移住。現在も休日などを利用して、道内をはじめ、全国の鉄道を乗り継いでいる。

現実を突き付けられた今、「乗って守ろう」だけでは、太刀打ちできない状況であり、北海道の地方路線は、生活路線から観光路線へ転換する時

元の方々に配布させていたできました。

今後、この問題はますます物議を醸すものとは思いますが、他人事と捉えずに、JRや行政など



夜の東鹿越駅

北海道と青森県の101の市町村に、JR北海道417の駅があります。そこにはそれぞれのまちの表情があり、101の鉄道風景があります。

この度、101の市町村の協力により、それぞれのまちの表情と鉄道風景をひとつのきっぷにのせて、JR北海道「わがまちご当地入場券」の発売を開始しました。101種類の入場券は、それぞれ101のまちに行かないと購入できません。実際にそれぞれのまちに足を運んで、あなただけの101の景色を見つけてみてください。

◎ JR 富良野駅 ☎ 22 - 0909



発売を記念して、富良野駅長の内藤幸樹さんから、能登市長に富良野駅のご当地入場券が贈呈されました



### ★ JR北海道からのプレゼント

「ご当地入場券」に付いている応募券(異なる10駅分の応募券を1口として)を、応募台紙に透明テープなどでしっかりと貼り付けて応募すると、「北海道の普通列車カード」をプレゼント。さらに異なる10駅分を応募すると「快速列車カード」、その次は「急行列車カード」、最後に「特急列車カード」をプレゼント。その他にも「専用コレクションファイル」なども販売しています。くわしくは、ホームページをご覧ください。



1枚170円  
※わがまちご当地入場券は、JR北海道が発売する普通入場券です。  
※7月20日現在、81カ所で販売中。残り20の駅は準備が整い次第販売します。



### お知らせ

JR北海道と富良野市が協力して、富良野駅のトイレを改修しました。車椅子や乳幼児、さらには人工肛門、人工ぼうこうを造設している方にも配慮していますので、どうぞご利用ください。

## “手ぶら”でふらの観光を楽しんで!

JR富良野駅に隣接するふらの観光協会では、7月からヤマト運輸と共同で、観光客などの手荷物を預かり、市内ホテルへ届けるサービスの実証実験を行っています。このサービスを利用することにより、観光客は重い荷物を窓口で預けて、手ぶらで富良野圏域の観光を楽しみ、その後、宿泊するホテルで荷物を受け取ることができることから、JR利用客をはじめ、観光客の利便性向上に期待されています。ふらの観光協会では今回の実証実験の結果をもとに、次年度以降の実施を検討していきます。

受付時間	午前9時～正午
受付場所	ふらの観光協会インフォメーションセンター(ふらの駅横)
配達時間	午後5時までにホテルに配達
配達先	市内7つのホテル
料金	荷物1個につき千円
期間	8月15日迄まで

◎ ふらの観光協会 ☎ 23 - 3388



多くのインバウンド(外国人観光客)がサービスを利用しに窓口へ。写真は香港からやってきた観光客



# まちづくり講演会

乗って守ろう 根室本線・富良野線



もたに こうすけ  
藻谷 浩介さん (53歳)

榊日本総合研究所 主席研究員  
山口県生まれ。東大法学部卒業後、日本政策投資銀行を経て2012年から現職。「平成の大合併」前の全国3,200市町村すべて、海外83カ国を自費で訪問し、地域特性を多面的に把握。地域振興や人口成熟問題に関し積極的に研究、著作、講演を行う。道内はじめ国内の鉄道全路線に乗り「乗り鉄」でもある。著書に「デフレの正体」「里山資本主義」(共著)、「観光立国の正体」(共著)などで知られている。

JR北海道が「当社単独では維持することが困難な線区」を公表してから半年以上が経過し、道の有識者会議「鉄道ネットワークワーキングチーム」が道内の鉄道網の在り方に関する報告書をまとめ、JR北海道と道内の自治体との地域協議や協議に向けた話し合いが進んでいます。

本市では、根室本線・富良野線が通る地域として、通院・通学・通勤などの住民生活や観光振興、農作物の貨物輸送など地域経済を支える必要不可欠な社会インフラであることから、根室本線対策協議会やJR富良野線連絡協議会が中心となり、沿線自治体の連携やJR北海道の協力のもと、鉄道の維持・存続に向けて、利用促進策などについて検討しているところです。

こうした中、JR北海道の鉄道事業見直し問題や鉄道存続に向けた地域振興、観光振興に精通した榊日本総合研究所主席研究員の藻谷さんをお招きし、根室本線・富良野線から地域の鉄道の在り方をみなさんと一緒に考える講演会を開催しますので、ぜひ参加してください。

- ▶とき 8月21日(日) 午後6時30分～午後8時30分
- ▶ところ 文化会館
- ▶講演 地域の鉄道の在り方を考える
- ▶講師 藻谷 浩介さん (株式会社日本総合研究所首席研究員)
- ▶定員 先着150人
- ▶参加料 無料
- ▶申込み 8月16日(木)までに電話で申し込みください。
- ▶申込み/問合せ 企画振興課 ☎39-2304

## 鉄道の在り方をみなさんと考えます

### 根室本線臨時貨物列車の愛称を募集します！

**募集内容**  
富良野・札幌間の「貨物列車(毎年8月～翌4月運行)」の愛称を募集します。

**募集方法**  
市内各小学校で配布した応募用紙に必要事項を記入の上、締切日までに小学校に提出してください。

**応募資格**  
市内小学生

**選考方法**  
市内各小学校で配布した応募用紙から富良野市根室本線・富良野線利用推進協議会で選考し、最優秀作品を列車の愛称名として発表します。

**表彰・賞品**  
9月3日開催の「ふらのフェスティバル」で発表、出発式典を行います。なお、最優秀作品・優秀作品には賞品をプレゼントします。

**注意事項**  
応募回数に制限はありませんが、1枚の応募用紙につき愛称名1点とします。

**応募作品の一切の権利**(著作権・商標登録・商品化に関する権利)は、富良野市根室本線・富良野線利用推進協議会に帰属します。

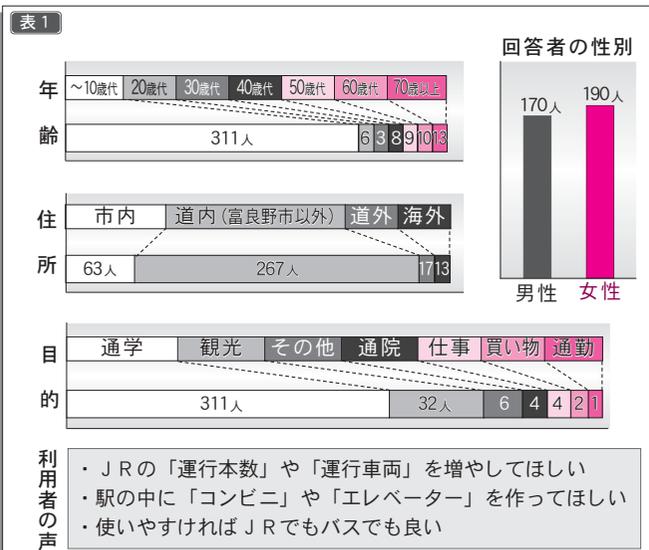
企画振興課 ☎39-2304

### JR富良野駅利用実態調査 速報

JR富良野駅の利用実態と、観光シーズンの乗客数を把握するため、「JR富良野駅利用実態調査」及び「乗降客数調査」を実施しましたので、その速報値をお知らせします。

調査結果は、今後の鉄道の在り方に向けた取り組みに役立てていきます。

企画振興課 ☎39-2304



### 回答者の属性・利用者の声 (表1)

企画振興課 ☎39-2304

— 調査の概要 —  
平成29年6月29日、富良野駅で、午前5時58分始発から午後11時27分終着のJRを利用した54人に聞き取り方式による利用実態調査を実施するとともに、富良野線・根室本線の乗降客数調査を実施。また、日常的にJRを利用している高校生(富良野高校171人及び緑峰高校128人)にもアンケート調査を実施。



### 路線の見直しについて (表2)

昨年11月18日にJR北海道が報道発表した「利用者の少ない路線の見直し」を含めた検討をしていることについて知っている人が280人、知らない人が66人。「富良野線と根室本線が見直しの対象になっている」ことを知っている人が233人、知らない人が74人。「富良野線と根室本線が見直した」ことを知っている人が263人、知らない人が32人、困る人が46人、困らない人が46人、分からない人が46人。

